

- 問1 中部地方の農業について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる最も適切な用語を答えなさい。「中部地方の各県では、地形や気候の特色を活かした農業が行われています。農業産出額の統計を見ると、新潟県では稲作が盛んなため『米』が、山梨県では盆地の傾斜地などを利用するため『果実』が、長野県や愛知県では『野菜』がそれぞれ大きな割合を占めています。このように、各地域が特定の農産物を重点的に生産する体制を整えることを（ ）といいます。」（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 近郊農業 2. 畜産経営 3. 産地形成 4. 工芸作物の栽培
- 問2 ある都道府県の統計において、米の産出額が約194億円であるのに対し、野菜が約643億円、果実が約298億円と農業産出額が全体的に大きく、さらに漁業産出額も約551億円という非常に高い水準にある自治体として、最も適切なものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
1. 大阪府 2. 新潟県 3. 静岡県 4. 山梨県
- 問3 北陸地方などの日本海側の地域では、冬の期間に織物などの伝統産業が発達した歴史があります。このように、冬場の室内で行う手仕事が発展した気候的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
1. 冬に湿った北西の季節風の影響で大量の積雪があり、屋外での農作業が困難になったため、副業として家内工業が行われた。
2. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った風が吹き、冷害によって農作物の収穫が不安定だったため、工業へ転換した。
3. 秋から冬にかけて大型の台風が頻繁に上陸し、農作物が大きな被害を受けるため、その対策として室内での作業が推奨された。
4. 年間を通じて降水量が少なく、干害によって大規模な農業を行うことが難しかったため、水を使わない工芸品製作が盛んになった。
- 問4 日本海側の地域において、冬に多くの雪が降り豪雪地帯となる主な理由として正しい説明はどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 暖流である黒潮の影響によって気流が急速に冷やされ、空気が乾燥して積雪を促すため。
2. 瀬戸内海から吹く湿った風が風上となる山地にぶつかり、年間を通じて大量の雨や雪をもたらすため。
3. ユーラシア大陸から吹く乾いた北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、越後山脈などにぶつかるため。
4. 太平洋から吹く暖かく湿った南東の季節風が、日本の南部に位置する山脈にぶつかり上昇気流を生じさせるため。
- 問5 ある都道府県の統計データにおいて、年平均気温が16.5度、年降水量が2324.9mmと温暖多雨な気候を示し、農業産出額の上位品目に「茶」と「みかん」の両方が含まれている都道府県はどこですか。（2016年 東京都公立入試 類似）
1. 宮城県 2. 静岡県 3. 長野県 4. 宮崎県
- 問6 長野市で見られる「中央高地の気候」において、年間降水量が他の地域に比べて著しく少なくなり、冬の気温が低くなる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. 周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、放射冷却の影響を受けやすいため
2. 夏は太平洋高気圧の影響を強く受けるが、冬は湿った季節風が常に吹き込み続けるため
3. 冬の季節風が山を越えて吹き降りる際、水分を多く含んだまま気温を下げるため
4. 標高が低く、対馬海流などの暖流の影響を全く受けない内陸に位置しているため
- 問7 福井県南部の若狭湾で見られる、山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることで形成された複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。また、その地形の利点を踏まえて答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 三角州 2. リアス海岸 3. カルデラ 4. 砂州
- 問8 日本の気候区分のうち、周囲を高い山々に囲まれた盆地で見られる、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい気候を何といいますか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 中央高地の気候 2. 太平洋側の気候 3. 瀬戸内の気候 4. 日本海側の気候
- 問9 東海地方の臨海部などで特に発展している輸送用機械の製造において、製品を海外へ輸出する手段として、航空輸送ではなく「海上輸送」が主に選ばれる理由について、製品の特徴に触れて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
1. 製品が軽量であり、内陸部の工場から港までの陸上輸送コストが安く済むから
2. 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから
3. 製品の鮮度を維持する必要がある、温度管理設備が整った海上コンテナでの輸送が必須だから
4. 製品が非常に小型で高付加価値なため、輸送中の破損リスクが低い大型船が適しているから
- 問10 飛騨山脈は、富山県、岐阜県、長野県の県境にまたがる険しい山脈です。この山脈の西側に位置する黒部ダムのように、この地域で大規模な水力発電が発達した理由として最も適切な説明を選びなさい。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 一年を通じて温暖な気候であり、河川の水の蒸発が少ないため。
2. 急峻な地形に加え、冬の降雪などによる豊富な水資源が得られるため。
3. 広大な平坦地が広がり、大量の水を貯める貯水池の建設が容易なため。
4. 地熱資源が豊富であり、ダムの水を地下の熱で温めて発電に利用するため。
- 問11 富山県を含む北陸地方では、かつてアルミニウム工業が盛んに発達しました。アルミニウムの製錬には極めて大量の電力を必要とすることを踏まえ、この地域に産業が集積した理由として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 大規模な火力発電所が建設され、海外から輸入した石灰を安く利用できたため
2. 広大な平野部を利用して大規模な太陽光発電が行われ、電力を自給できたため
3. 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため
4. 北陸新幹線の開通により、製品を消費地である首都圏へ高速輸送できるようになったため
- 問12 日本の主要な貿易港のうち、名古屋港の貿易的特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2018年 愛知県公立入試 類似）
1. 京浜工業地帯の中核に位置し、輸入した原油を精製して石油製品を輸出する割合が最も高い。
2. 輸入総額が輸出総額を大きく上回っており、特に衣類や生活雑貨の輸入拠点となっている。
3. 輸出入の合計額において成田国際空港を上回り、主に半導体などの電子部品を扱っている。
4. 輸出総額が国内の港の中で最も多く、自動車や自動車部品、内燃機関などの輸出が盛んである。
- 問13 本州の中央部から日本海側へと流れ、その長さが日本で第1位である河川の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
1. 利根川 2. 信濃川 3. 石狩川 4. 木曾川